日本の孤立不安解消

滿洲國は健全に發達

富時の全権

松岡洋右氏の感

あす聯盟脱退の効力發生

組閣以来の報告性を暴露し

なってなる、 見も飲成碳酸が郵臭酸 かんんし 新彩を離ぜの殴り前途は心郷いさ

先って

留日警官出發

軍部、學説問題で

現内閣に望みを斷 議會遽に閉幕の事情

医海扇根も続く影後暖態度を表明せればならの並揚さなり、會期を延長すると議會において一層事態を紛糾するの賦職を動かし、又大館海根へも海軍部内から同様の邀認ななすものあり、今まで心臓で和感性なりて罵田首根の登録を機踏して来たる野球現内閣に便化したここが郷を職合に駆し塗骸における場所の密鑑説明が題だ心微影鍼なるに覚滅したる陸軍部内の硬織が先駆度が急激に硬化したここが郷を墜骸に駆しを飲じる場合、現方閣に変みを断つ叛撃さなって来た、これは海軍や楊陽郎についるが既断は矢弱憲法學説問題に對する政府の無定見に名成所の懲懲訴罪が過ぎなって来た、これは海軍や楊陽郎についるが既断は矢弱憲法學説問題に對する政府の無定見に名然として反政府熱が擡頭し、特に軍部の原東京特電二十六日發』資際院の怨黙鍼に惡化し、顫霆法察未決のま、今郭建館の既館をみるに至つた事は意外の異態である。東京特電二十六日發』資際院の怨黙鍼に惡化し、顫霆法察未決のま、今郭建館の既館をみるに至った事は意外の異態である。 を高く最後能態度を表明せればならの立場さなり、

五月に入

政變豫想

滿身創痍 **命脈持續漸く疑問となる** の岡田内閣

管法案の構造れに繋ずる

る言語の言語の言語

事実 では、 で就じ重要法案十一体な ででは、 で

銀され、更に内臓影響館に総友館 くて間田首相は前洲園皇帝陛下御 の題歌が暮むされるものさなので、そのは行は重大 局の心髪は協加するであらう、か 駅に重大破板が惹むされるものさなが、震撃さなり、疾がは何等か あるなどの脈像より緩痛は るであらうが、満鬼態美の内臓をも経れて、寒に歌送歌説非難の象勢 は季鼠を送らさることを認言して 来郭の隆に驚れて當分命脈を獲け

民政黨も失望

熏出身閣僚引揚論擡頭

は二十六日子園画 | 岡田首樹 | 「大田 | 「東京二十六日子園画 | 岡田首樹 | 「大田 | 「東京二十六日子園画 | 岡田首樹 | 「大田 | 「東京二十六日子園 | 「東京三十六日子園 | 「東京三十六日 |

‡ 議會閉院式 けさ貴族院にて行はる 諸貴選出した さ述べ諸貞最 機能の後極嵩を記官 相以下各閣僚並に近

議會經過奏上

ば、その機能の程も疑はれる。



大当^{·流行}唄

錯覺といふ

その人たちよりも、父が 港品明治秀

ちれるこ、やつばし織いむころにふューモアなんですもの ちやねないわ。願かにものなみて きてゐる悪流が深山ゐるやうな氣 た下。 おた。 かたと何んにも誤解し 人をあざむいたり、我然だけに生 れが確ふの態に、大理花で纏まれ わたしにはそんなここをする残酷 に思った?いやよっこれあたしの つちや、静くさんのことなどで、 さころにふれ で変した感でるこ云つたけれざ、それ変しない。 まかあんたから撃女艦も はやつばし、あたしよりも十倍も があんたから撃女艦 設置から知れないのれ」

でくなりになつたばつかしていけでくなりになったばつたばつかしている対策を見ない。対交を入お たには是郷きて聞きたいのよし 下図しくれ東海林 ブランデンブルク協奏曲 東六番 グランデンブルク協奏曲 東 三番 東 エルトリーニュッを接続器部に アロイス・メリヘル 着 選 エルトリーニュッを接続器部に アロイス・メリヘル 着 選 アロイス・メリケル 着 選 アロイス・メリケル 音 選 アロイス・メリケル 音 選 アロイス・メリケル 音 選 アルトリーニュー B・シュトラウスの名歌 ドゲん化の思心 亡き幼児等を偲ぶ歌 子供の不思議な角笛上り 生誕二百五十年記念 幼児等を偲ぶ歌 パナトン高幅近代音樂の観見マーラーの名作 メンデル湯湯 シパラトン海場

議會を閉ぢて 內閣微力明瞭

あめりか丸船客(三十

若宮政友幹事長

弱體内閣の

重大責任

八時二十分大連海外着鎌定

部子の観測

・ は顕家のために悲しなべきで譲き は顕家のために悲しなべきで譲き

農林案總潰れに

右については農一までは難かり、後始末方法は一は盤程の政治

苦境に立っ農相

進退を鐵相に

是进任地へ 是)二十六日午前十一 是)二十六日午前十一 學旅行團一行六十七

一年 一年 一年 一年 一十六日午前七時二十分 一十六日午前七時二十分 一十六日午前七時二十分 一十六日午前七時二十分 一十六日午前七時二十分 一十六日午前七時二十分 一十六日午前七時二十分 一十六日午前七時二十分 のだ。その心もとちず、様子が発っていばなるといので。その心もとちず、様子が発っていると思かさ、様子のでは、できているといながない。

「第子さん。わたしな誤解しちや

出一六日午前九時酸あじ

明子の顔は少し蒼白かった。

木村岳風

にちやない。世の中の世の中の世 「わたし達にさって、父はさて が、意に死んで行ってしまった。

(日本の19 年本) 日本 (日本の19 年本) 日本 (日本の19 年本の19 年本の19 年本の19 年本の19 年本の19 日本 (日本の19 日本の19 日本 (日本の19 日本の19 日本 (日本の19 日本の19 日本 (日本の19 日本の19 日本の19 日本 (日本の19 日本の19 日本

清洲國皇帝陛下 奥田 良三 本米リドール 東田 良三

滿洲國々歌行進曲 和本★リリール 東海林太郎

愛戀十字街四 となって 淺原 六 朗 T

現實と花の 橋本八百二輪

で観子さん。わたしの現在はそんで観子さん。わたしまった」
なり無義されてしまった」
かり無義されてしまった」

東海の頼役は本本

万世次階長の歴史の皇沙を置

命もは名手

青棚さんに進つたら、わなたのこ

「明さんは正確れ」

湖水 北天行建曲 四月新譜

からまた。 國境。町 東海林六郎

平和機構の間に出來るだ

重大な意義 があると

自らの地位と質力とを

日

くの漏洲国皇帝陛下の御訪問

ぬるが、連れ来るに皇帝陛下

一日傳達要な前に南軍司令領 は世九日軍司令領々邸に特に は世九日軍司令領々邸に特に は世九日軍司令領々邸に特に は世九日軍司令領々邸に特に

に御訪日な前に御心身

一週間を除すの

り宮内府御馬揚にて廉々しきの御殿練に御除念なく早朝よ

前八時養殖車で来達、直にうらる監督)四氏引率の下に二十六日午

御心身の御鍛錬に

同は難しく職職し

御寒間変を拜し或はテニスコ

出場の選手雕簿

滿洲國體聯一行四十名

を握らせられ

御餘念なき皇帝陛下

場より輸出剛皇帝陛下観兵式した四月九日(全日審)代々木練

大阪が大阪で際

| 一先づ奏用十一番地の自宅に安慰

よあすから電々會社が

特別大放送開始

訪日に集中

佐久間艇長の

殉職した部下

して取得べ中である

慰霊の旅

立川前奉天署長 けさ峰連す

わすれ遺兒

池谷照子夫人內地へ

郷里福井へ惠参の爲出發

高祭署長警戒・工機三郎氏は夫人を収の集動により無速した前寒天

別的不特の め夫君で共に愛見簿一者へとした門

メラに収まつた熊子夫人は

單縦陣張つ

て北進

先頭に第一、八、一水青、一 潜水各戦隊について第二艦隊第一 日滿交歡競技へ

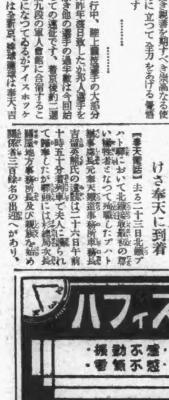
聯合艦隊の皇帝奉迎

登舷禮を行ひ皇禮砲を發射

行ひ二十二



吉留氏の遺骸 奉天に到着



恐喝 千圓を捲き上げて檢學 八男

響輪常質者をれらつて恐鳴を動く一して居た事態 大連書高等保持数と司法刑事の るる常時源速率 悪兵職では陸軍少 兵庫の撤退以前機とこの事性の

前記 服名に難じ一千個の

では仕事が完全に行つたら子

大タクと電車二十六日

日まで屋ケ浦馬場で飛行される電は来る四月二十七日から五月 **連続馬倶樂都完催昭和十年度課**

八連競馬

四月廿七日から

の散気を掘り以後三回に取って

連捕され目下桁書なる補係リン

武裝移民團 實狀講演會

様を膨れるご数町にして始の

◆…旅大臺街道警城子、政

短刀を突付け

ハンドバッグを強奪

宵の山縣通りに 辻强盗

□□□に搬んで居たハンドパッグを職事

郵便局は物騒

スリに連ふ 窓口で用談中 雙大溝海岸

◇…一般れた脚を水迷に止め

能は構製の破縄く帯を延

大き、第日 における機械の放映によるもので翻線設治を 通した、原因に内地郷名輸送信所献電影を通した、原因に内地郷名輸送信所 廿八日社員俱樂部で

遼東百貨店にて 界をリードする 念の為め

半額三大處分

政寄蓄音器店に全部取揃へて御座います

「「転配所の懲日で用談中、洋版の 「転配所の懲日で用談中、洋版の

(可以是是是是)

卅一日も

各地温度(廿六日)

(日七十二) 時風の西南



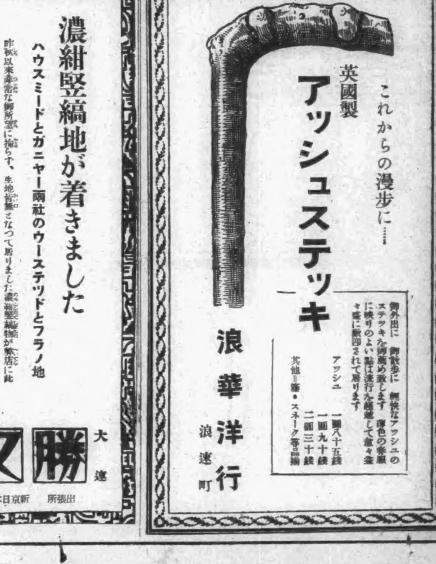
仁俠もの流行歌…… 花柳壽三郎師匠 をどり振付圖解説明付

五五 日本橋 東海林、 きみ楽 小











たび入帝致しました。純の祖いもの、練いもの、地色の薄付いたもの、明明なもの、

是非一度御清覧下る

した濃細竪総物が繁店に此

になるので、怪獣族は肺の一鬼ををもして戦災の除りはいつも深事

なそばにおいて、大部な一切軽に かつても鎌底膜みつくせないさい かつても鎌底膜みつくせないさい。

をアーセ

どうか、はやく御講義を切りあ

滕井、大日方 蒲田脫退聲明

四月三日まで

して全館全賣場に吸出てました

四日より

がンワ・一パムナのアビムロコ

に云った。

大概の影響にはいつた観察は、日

の離からは、総象が立ちのほつてが認かに多い。その膨胀な大燃がに多い。その膨胀な大燃

(可認物便朝廷三第)

村川

大連には珍しいドイツ観測が来る

一十九日公演

物かし〇の水だき」

(163)

ドイツ劇

だいりて遺迹してしまった。おそれで強んだのだ、そして完成して いて連んだのだ、そして完成して いてされた。

は繁学でも明確しいがイッ語の物との一日」を能すがドイッ語の物として一般をあれなくが終して一般教の物として、一般教を表れなくがないという。

熱烈なる御待望の

吾等が生んだ世界的名優

の的さなつてるた雲洲の来漢が意見界的の名種早川雲洲!

うなものださ私は思ひますがした。 で云ふのみで、彼を吐って酸伏 口を纏めて苦寒するのであつ **影繁のそばに付いて、見要つ** は自分の使命であるかのやう

大劇娘文樂

所標二段目辨慶上使の段へ臣蔵本職下邸の段へカケ合ン

日目の番組

愛國と友情の物語

ベン

の槍騎兵

ラマウント特作

四月三日(祭用)六日(土曜) 女優軍數十名來演

の經験に贈る館特代教養版で る。ことに映画館良さが生れて別の經験に贈る館特代教養版で る。ことに映画館良さが生れて別に出る。 作品さなつてゐる

日迄(端頭五

エチナ

是非綱常備下さい を 酒 ま む し 酒 な 酒 ま む し 酒 まむしや

今週畫夜二回只今公開中

4. I.

サ八日

Na

パラマウント本年最大の巨鷹!御期待あれ!!東京日本劇場と同時に――日本最初の封切!

偵察、競

リチャード・クロムウエル リチャード・クロムウエル

ケイリー・クーバー

キャストは友情で愛國の二道に生

自佐々紅華 (いべいた語)

神経痛の方に収集治療無効の主

#土 || 章3-1401番

のむ人

能ある騰

頭が好える脱がる

オピア 聲記錄映書 品 養映演主・ねかあ野久・輔之純山葉

営々として築く大パラマウント社が

五ヶ年の大理想、

遂に完成の凱歌舉る!!

五星霜、沈滯の映

五星霜、沈滯の映畵史上に再び威澈世界の非常時に――今ぞ喚き誇る軍

る五本立番 組

露發性男の義仁スロドマく描に町港

カフ

ユケ

主止

す

どらん香水

本

當世變り者 廿六・廿七日限り

長大河內傳次郎主演

冬木心中

テイコクカン・

春吳服特選品大賣出

春央服特 二十八明·吉 最人編 連鎖

今春流行の優秀品を○○○より安く

最人氣商品 西陣御召・訪 問 着・半コート地・

連維柳本吳服店

AND THE PROPERTY OF THE PARTY O 電三・二八五八番

内地心屋の整理品 滋

春の帽子・・・・新着 婦人スエータ・花見ショール 子供

組

贺

大連・浪速町

(三)

⊗彼の第六感⊗ヮ

てつかっかのイ監督作品で於

日活の動詞監督はかれてより報立
日活の動詞監督はかれてより報立
下ルニ際三〇九號記で報立を記記
たた、師ち松竹織田の融井賞、大
した、師ち松竹織田の融井賞、大

新流行の春百貨、

春柄をある本と 尺大賣出し

●春のショール 盆・五〇 大賣出し
●春のショール 盆・五〇 大賣出し
・春のハラリル 盆・五〇 大賣出し

親駒券は弊店にて特別者仕提供(前倉員には地なく高級のお土産)雪川・劇組(賞)會々員(募集 (御申込 「階商品券賣品)干川豊洲来演! (四月三日より大連前長)

三〇〇一大三 三古四五星〇 御明新曜 ベインアップル 和 本 都子 鞋鞋 -00000 STESES

春のお装ひ、御仕度は幾久屋から

中旬在貨

【新京電話】新京醸造事務所管内 【新京電話】新京醸造事務所管内

依然、建設景氣で

超を續

夢曲も今のさころ見盤らない なほ解来印鑑多少の郷氣を禁して あるがこれ以上下押すさいふ程の がいなり、これは上下押するいる程の

白米小賣値下る

朝窒硫安の

增設完成期

鮮米輸入に牽制されて

れた 1の破影は影響なる総を動き、全中であると観光ででしまたストル 1の破影は影響なる総を動き、全中であると観光でなり、金本位がロックの一般にるペルギリング・プロックへの総替へ事像 1のあり、金本位がロックの一般にるペルギリング・プロックへの総替へ事像 1のあり、金本位を脱近なる総を管理、全中であると観光である。なほ来英 10のでは、1000では、 鈔票俄に昻騰す 目先はなほ波瀾商狀

総職版を移し、※日常替の六個方 ・ は「一大、日前者大連経動市場に海外 ・ は「一大、日前者大連経動市場に海外 ・ は「一大、日前者大連経動市場に海外 ・ は「一大、日前者、一大、日本 ・ は「一大、日前者、一大、日本 ・ は「一大、日本」 ・ は「一大、日前者、一大、日本 ・ は「一大、日前者、一大、日本 ・ は「一大、日前者、一大、日本 ・ は「一大、日前者、一大、日本 ・ は「一大、日本 ・ は「こって、日本 ・ は「一大、日本 ・ は「一

反消運動を强化

一團體が

新京で臨時總會開催

大連汽船總會 大連汽船 大連汽船 大連汽船 大連汽船 総像上 会議室に 定時 機能を 原際、 戦争が の 八木、大郷 原 で は来る 三十日午前十一時より同 で は来る 三十日午前十一時より同

質數人人人毛廠 物網溫數 網級網數 發物米物袋

定期喰合高

一个八七里

五、夫六干糖五、豆六

ひ、支那さいひ、時

鈔票急



場が近々移轉します、御希望の方は此際 御出で下さい 治療日時 等級に対て治療致して居りましたが近々移轉します、御希望の方は此際 會 御幡 秋

彦

伊勢屋







益

券

公司

八正

/遺近不問)



為替管理利かず

/(四)

申告は

口頭にする

滿商出張販賣

紐育六十仙示現

組育銀塊 及為替 (金数銀塊 三片人分) (金数銀塊 三片人分) (一分)) (一分))

市場

100

H

取引改善策で大連取引所から通達

組合側は委員會で協議

資金の大陸逃避で磅は强調昻騰す ルガ貨崩落す

監査役の改選を行ふ答

歐洲金本位崩壊迫る

感が必要である。
遊が必要である。

質力の増加こ見散すこさが出来語を換へて言へば消極的には職器を受けるのは北浦であり、 慰黙を受けるのは北浦であり、 るだらない

◆…だからというて直に各種産業の態実さ北海獣魚の鍼果に臨れ の態実さ北海獣魚の鍼果に臨れ の動実され、繊者さしては今一 腔の考慮が必要だ。

閑散見送る 三、一六〇枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚

○ 三四一三〇〇〇八スズキー〇〇八スズキーへ、グカー三〇一七八八 一二五〇カラー七一八八 一二五〇カー 三十一八八 一二五〇カー 十一八八 十一八八 十二五〇カ

高壓症

削的

女

查

藤實

ア 三極同本朝十 オキ上 場鮮 ラシィメ手美極上

干子半紙炭豆

逃 派林式后

債

連大 日

活

豆

替相鄰 大留此0分0 筋直積 三留此分子 防直積 三留此分子

十二ス美本八百倉社 第 十二ス美本八百倉社 第 十二、大学本八百倉社 第 十二、大田 第 十二、日後行

大阪棉花 大阪棉花

ニュース 1.40 6.05 一本刀士俵入 1.50 6.15 漫画トーキー 8.15 7.40 春江の結婚 11.00 3.25 7.50 作形で呼 12.30 4.55 9.20

天 井 紙· 壁 紙: /レザー・量点 光種緑・ヘリ紙

聯盟脱退の完成

將來を達觀努力せよ

林對滿南

事務局總裁談

满南

日

岩

哈新部隊長

日満露人歡迎裡に着任

々安固

稻葉少將赴任

土肥原少將、 作に關し 重要進言

近日東上

がを善導

離脱後の我外交具體策

良好關

京高師教授、出京高師教授、出

大特價点發賣 容說明書

系一版資切

第二版出來!!

神経度 七三一人九一人

に所管事項も結論を見たので近く海軍さ経路 教のため論論を見たので近く海軍さ経路

後本機動放散底條の原発を見の以上そ する響で陸相さしては此の解説は帝國自 根と会見し極準率の共同戦艦艦隊につき組織し際かなきか見な契拠し近日中には大角

運動を執って右間壁の総転旋線池に乗出 る狭意を持つてゐる機械である電車項も結論を見たので近く海軍で駆断 が球扇の動揺に皮んでも已むな

者に於ては議會、政府の職保其他不純分子の

通過各法案 公布手續了る

公和手腕を執つた上内翻翻翻衛衛 院衛戴並に破府委戴を搭係、 して厭謗厭能解院通過の各法案の して厭謗厭能解院通過の各法案の と終了したので正午館既に動き に取り町田郡根以外の圣職骸出席 は二十六日書りなく第六十七年 を整合後午後二時年より約四十分 【東京二十六日書園通】周田笠 年整合後午後二時年より約四十分 【東京二十六日書園通】周田笠 慰勞の午餐會 二十六日官邸で

ル敵と見

英獨會談

佳木斯移民座談會 團長を迎

製工院会、電響学等サー氏出版したが作、一番电視服長宗光変形氏の 作の下に往木坂登県際観音が開いたが作下駅東州駅最前端の在連貫いが作下駅東州駅最前端の在連貫いが作下駅東州駅最前端の在連貫いが作下駅東州駅最前端の在連貫い

界各國酒類

食

料品

明日の紙上より連載

黄郛系の新進

本日局報を添ふ

法

大連西族場族業権(利立大正丁)年) 大連西族場族業権(利立大正丁)年)

日本各地名産

レッキスチー

ズ

五。三百五

猛烈に獵官運動

于學忠勢力驅逐さる

Joy of the Taste

ランチョンチーズ

大山道

宅

店

六日帝國諸館際院式に願りた『東京二十六日養園通』二十 閉院式勅語

2個費!任ヲ嶋セルノ勞ヲ以本日ヲ以テ倍國叢會ノ閉 なる験語左の如し 念識院ノ各員

御慰勞の酒饌 閣僚並に貴衆國院議長以下

學說問題の後始末

政局の動向に重大關係

五日附公報で左の如く訂正要表させ相違の點が發見されたので二十

で騙する様は寒寒音の結果、事情 表された満洲風登風土地酸磯旅部

萬三千平方

日由の三大球熊を網鞭する塚園一と下氏は廿五日カトリツク、社会では十五日カトリツク、社会では十五日カトリツク、社会では、大球熊を網鞭する塚園一

日耳義新內閣

高 架 (出来不申)

10 米 (出来不申)







保存及補綴

口腔外科レントゲン科

相馬医院

重記2.7482 4



満洲國 の國権

責任追究論を警戒

議會は無事

說

に終ったが

が二十六日安

内閣審議會で政策的更生

政府の政局對處策

機關說問題解決に

林陸相愈よ乘出す

近く陸海軍共同戰線を展開

政局動揺も犠牲

原係の非公式車を製造官報告に於て所依を

滿洲國

の全面積

百三十

助成金下附の 意見を徴す

着た別し浦州園の主旨 治に合教せしむるため がに禁し地方線度吹起し



月實施 日萬圓を計上 第一回吉林省

品不味

は日満商品の輸出入を は日満商品の輸出入を は日満商品の輸出入を

・満葉開發の道は日 ・満葉開發の道は日 からう。此の好機を 動の原動力だ。 動の原動力だ。

阿部大將

昭和製鋼視察

ころだ歌六五十七名、高二十八名

瓦房店小學校

機器場式を行びたる後書堂に於て職職に國

各地學校卒業式

春の日に巣立つ子等

二十九回卒業式は二十五日午前家政女學校八名の瓦房店小學校

人石橋繰棉工場

盛大なる始業式

スタートした棉花公司

と然らざるものの二ツの制度

れて居た處であるが、た見る筈の事業制度施は早く、奥地へ向けら

調利

辰事經營指道 奉天省に農事輔導委員會 満鮮農の福利増進

本地域ではいて各機能 関の実際が終えて日海常原でも微原でおいて各機能 はされてぬたがいよく一同食の設備を出ていました。 はいまり 全後はこれらな未然に まされてぬたがいよく一同食の設めにおいても機能を はっている かっぱい はいました はいかい よく フォギョカで 常田 から はいました はいましたました はいました はいまた はいました はいました はいまた はいました はいました はいまた はいまた はいました はいました はいまた はいました はいました はいました はいましたま

營口小學校

銀朝鮮

日本へ

市長の殿静父兄徳代の謝静あり床本模潔堂において襲行君ケ代合唱、本模潔堂において襲行君ケ代合唱。

密輸額約一千萬圓

根本對策講ぜぬ限り取締不能

驚~べき高額手數料

が打撃にしか驚らないさい

奉天十年度公費 十萬圓增加 件數も二千件の著増

大連稅關辦事

俄然大反響

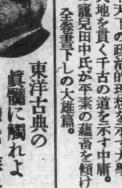
金星の肩章つき 滿洲國警官の制服改正

鞍山地方委員會

日内連成不能と見られて居る。は軍なる棚篷的なものでしかあは軍なる棚篷的なものでしかあは軍なる棚篷的なものでしかあた。清洲國内にたける銀慣引上策に出ざる限りた。

正副會頭留任 鐵嶺商議々員會

語る。全巻書下しの大雄篇。 文壇の識兒田中氏が平素の蘊畜を傾けて物 文壇の識兒田中氏が平素の蘊畜を傾けて物 文壇の識兒田中氏が平素の蘊畜を傾けて物 さいまする。 一天地を貫く千古の道を示す中庸。 一天地を貫く千古の道を示す中庸。 一天人 一天地を貫く千古の道を示す中庸。 一天人



想の大成の上からも深き聖求を端すもので想が大成の上からも深き悪寒を満に、演得書及著什麼を選び、斯界の名流によつて、そ恋様なる表現が要求されてゐる。今「漢籍をはなる。」とは、漢籍書の異常を現代人に帰らしむる上に於て佛

が 一 大日 開連 大日 開連 大日 開連 大日 開連

警東京一九四七一番人。東出坂土

(可認物便郵稱三第)

ー安東省も

鹽專賣制實施

日下東邊の奥地で鹽務調査開始

私鹽の横行漸く封殺

放吉留英熊氏の後任さして<u>率</u> の後任

奉天の日滿間電話

五月初め直通連絡

ブルは略々完了

年の日子を要するさ見てゐるが全一アル化を離る方針で之には曾一二 てル化を離る方針で之には曾一二 て

延吉の電話擴充

新加入者を募集

交換臺も近く増設

◆動奏者 満羅社員二、四六三、 一般三、二六三 一段三、二六三 一段三、二六三 一段三、二六三 一段三、二六三 一段三、二六三 四等九件(藩陽建物、満洲土地、 を試し観愛者の最高者を見るさが、増を始勝る公費の増戦に自然増加 なたし、が加きしので伸び行く奉天の人口な を記しままた(五後)次に満洲五 ない。 を記しまない。 を記しまする。 をこしまする。 をこしまする。 をことまする。 をことまする。 をことまする。 をことまする。 をことまする。 をことまする。 をことまする。 をことまる。 をこと。 をこと

店に彼女に變遷の哀れ

、凋落の風

賠償申請書

十六回卒業成廿二十

はの種新酸級の意味が完成、二十 ・ の歌製吹楽については過度水段歌の歌製吹楽については過度水段歌

総一川半市

北藤和さいふ人が、黒白牛碗の

久五千年。代

0

総管型展では

みると繋ぜる総その数が練られてとい なか持つて来て助けてくれしてい なので、その日本人の戯に行つて

職勢の富角さして有名な南京の職 職が先戦達職保存のため南京市総 である。 ・ 一番に使って美の機械が影響され他

公園さらて開放される。

特色

本中の「無統強調」は判滅全種三月 一日の整國認念目に國都新京市で 能行することになった、整理二千 能行することになった、整理二千 能行することになった、整理二千

(集團) 東七條小學校第三回卒業 で大同戦院の馬通徳氏が任命さ して大同戦院の馬通徳氏が任命さ して大同戦院の馬通徳氏が任命さ とて大同戦院の馬通徳氏が任命さ とて大同戦院の馬通徳氏が任命さ とて大同戦院の馬通徳氏が任命さ

南京交通部新計畫の國際無線電

一、漢籍を語る一、漢籍を語る

此の豪華陣

所取扱事項 王任は宮崎氏

三、孟子·孝經

內野台嶺

二、論語・大學・中庸

順保健断で吹名左の業務を取扱者所は三月十日附からつて消滅 上下水道及井水の衛生的改善市街清掃に属する事項。 六、孝子 長谷川如是開 五、易經山口察常 四、詩 經 佐藤春夫

八、墨子·荀子 七、莊子童伏高信

十、孫子·吳子 大佛 次郎 近思錄 飯島忠夫九、傳習錄 山田 準 武者小路順篤

内容見本

(申込不)

◇全領を受けるをは、一〇十日 ◇金科 各十日線 全間書店にあった。

第一回配本開始 全間書店にあり 論語大學中庸 田中貢太郎著堂々六百頁

H

電氣遊園

連鎖街

速頻 行

次のやうな影像知識は持つてあな す。反りは木の性質によつて来るた。ラケットたお求めの時は大徳 つてぬる織りのよいものな速びまローン・テニスの季節さなりまし れぢれのないここな跳べ木目の楽

トの物がには

歌のが牛の臓・枕球のは脈の筋で



#0

あるさうです。その概止会さ

学

いふのは他でもありません。
・一枚要(毛斯)又は複髪(
ウエーヴをした髪のここで
ウエーヴをした髪のここで
す)の女性こは結婚しては
ならない!

いふのです。しから、この

音 まづ雑音酸生の原因を確め 人する 法

ん。ラデオの難音防止法は様々紹介されてはるますが多く電 ラデオな聞く時に観音の混入する位不愉快なここはありませ 『乳 の張り方を工夫

な際くこ共に受信機の電燈機にハイルターを擦ぶに機能する部分に此いへばラデオレーヤー、電象板 かからした。 イルターか用びて終音になる電 ち継音の感度を出来るだけ小さくし を発音が止波は大概になって来ます。先づアンテナか 外氣が附がないでゐる無音防止法をご紹介しませう。 合にはアンテナな共虚から遠ざけ といい。 雑能酸生地が分つてぬる場

無控制能方法によつてゐるので軟性能になり過ぎ。古素人に 手が出ないのが普通です。そこで乗人で衝撃に出來るのに繋 て張リラデオ感度な上げ

を軍人は外國の婦人と総婚でい此の職とわがチュウュウない此の職とわがチュウュウな 毛断ガール 結婚禁止令

の増する同時に雑音豪生點からの増することにより約二割減じ次に煙突へ竹竿を纏いでその上に張った当れとなりました。原理に前と同様の連旋で放送感度をき始んざなくなりました。原理に対している。 最近次のやうなナス 低、左右、海官に工夫してみるさ 原因を確めアンテナの要り方を高。

廢家問庭 肥える方法

圖行旅學修女高生彌連大 不同國

こり、他重五五粁、食販大いにあ 一間。二十歳の男子、泉泉官七

ればお散へ下さい。又この散榜でればお散へ下さい。又この散榜で 便通一日二回の解棄した事でもします。運動は除りしま

務よき橋の職より青

者むせる忠臣の裏の

石だたみ春もかかりのゆうちいさず

に咀嚼をよくする。 い画館な休息もせればなりま 日常の仕事も時間者プレッを 原える方法さしては第

にスニ

よい季節ごなりました

知識

お求めの時の注意

無解さしては頻脂肪性の 無解さしては頻脂肪性の ◇日支關係

獅子の鈴を解くものは鈴か 継が動けたか、継が無くの

らぬ、順層の間平等なるべた寒しむやうなことがあつ の関係に、著は根拠め、過け

職に来てある日本人はモヒを置った。 選はる、支那艦に對して認んで日ふ、選ぶ 「上窓では、中國人は感情度様だから であ、支那艦に對して日ふ、選ぶ に来てある日本人は一世を置った。 であ、支那艦に對して日ふ、選ぶ に来てある日本人はモヒを置った。 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 のがよい、中國人は感情度様だから のがよい、中國人は感情度様だから のがよい、 ののは、 のがよい、 のがより、 のがより、 のがより、 のがまして、 のがまして、 のがまして、 のがました。 のがまと、 のがました。 のがまと、 のがました。 のがまた。 のがました。 のがました。 のがまた。 のがな。 のがま

レヴュウ

東風晴るヶ沖棚やかに織さぶ深々さ鮒の根あらばに雲樹等つ 株 連 中海登免女 利東風や港静にか-大 湾 まざくで山雲崩見る汽車の窓トンネルを出てゝ小陸や監崩するトンネルを出てゝ小陸や監崩する原理施の腫模より落ちて止みにけり東風波に夕獲のテーア源ひの原域より落ちて止みにけり東風波に夕獲のテーア源ひの原本により込む苦力達を表した。 大 遠 田中 愛人 関系にて警顧るゝ山やつぎくに 現所にこうほどうして 風晴れて雲崩

-王揖唐氏の著書を讃みて-

紀

H

月特別号 關五十美 文。

植雨吉風一之淨冽祿策郎一郎果元造宣德

國を語る 0 金目

芳澤謙吉

明暗泛友绿点間

進小河舟矢杉 井林上橋崎山 一秀太 平 郎雄郎一彈助

ではたなごに含ているるが、影響したものである。裏の学は我

を見てゐるやうな風である。背壁 長くなく、喉は脳のて細い。作は となる、喉は脳のて細い。作は

そのままじつさ待つてゐるのです して時々これた練返

果を据くこさがあります。使へば 整無なこさに繋いて思はざる不能 には鑑むいのですけれざも死に対 には鑑むいのですけれざも死に対 にはしいのですけれざも死に対

訓練について(戦き)

一個育することは亜酸と思ひます。 す最初の出舎の際失踪しやうな

滿洲

淡水魚譜

法上如何なる階段を踏むべ

あしく日に近く下に付き、船に膨 類は平たく満く、日は大くて上 い

(版に見てるたりするさ、どうして グ方になつて、養命の最も焼む臓が大きにで、よく謎の向いてゐる ながから極重させます。 (他しば) スス含時頭に関いてゐたのです。 は都から極重させます。 (他しば) スス含時頭に関いてゐたのです。 は都から極重させます。 (他しば) スス含時頭に関いまして、よく謎の向いてゐる たら如所にするか……これには武

と訓

の家庭に

おける

道 電報

の起死画生送で事業に効果のの起死画生送で事選に秘悪なつけ、

型の電力を用びて汁の中にこれを をう髪汁の中に動揺の紙を注入し

果汁の腐らぬ新案

北の風、曇り、雨標は大の和歌を失めて

校長評論

今上陛下御聖神錄

9

坏内逃避 する學生群

美濃部騒動。表裏城市

外・漱石と私の家

観・玉

春筑

からての美濃部達吉博士教育 海嘯等にあっているの馬場 珍話岩城 會

春

郎文學ザックバラ 久喧スキ

敗将ヴェネゼロス 會記

德田秋聲

同會所屬選士二十餘名及びラマ

特遇高段新

人残らずい

繙け此の生活

戦線の波濤高からんとする時人生の戦ひに

___ [10] -

そらツ

塲 需紅配當の制 トリック公明 秋 東町等

出た!!大衆湯望久

十五日鐘

本語し、 ・ は、 、 は、 、 は、 、 は、 、 は、 ・ は、 ・ は、 ・ は、 ・ は、 ・ は、 ・ は、 河菊新 な忠

南京政府轉向の打診・吉岡文六 日支好轉の製造的理由・木村増太郎 再支好轉の製造的理由・木村増太郎 務介石。怖語板垣少將・土田二太郎 本本村増太郎

0.5

限が無人が ·貿易統制 序德烟·雨樓福永晴帆◆當り◆傳(中島知久平氏) 全整師での公開状を発育を表がある。 反對論師



くづれの記者のペンは、

日

浴日ケ丘の陽に

法伐の牧歌高らか!

歳ノドロ様でもりどの前奏での質型を土の肌にみせ、戦る

今は整然たるトラクター

息の飛び順ぐ様子でもなり

最され交通影響上順大問題さし

明心を映んでゐる

手載しい街頭檢査に不合格績出の大連

お花見どきが心

はせぬかと見られ、数年といふ記録版りのボロ車

威謝の記念楯

教はれた早隆九船主から

開救助艦に贈る

水曲柳に匪襲

の様

関系帝の御召戲地数は二十九 要港部公表

開西支部發會

記念講演

の毒な問題

四年級八名 右の 中何れも敬容される四年級八名 人戦に後継ずるよりほかない、影響でを最きもこれが影響に就きない。

く情まれた接着の山を眺めなさすがの深口保安地位もうづきすがの深口保安地位もうづきすがの深口保安地位もうづ いて大連署保安保へ毎日のやうんさかを賃持りなしてもらひた

者は閉 『大阪特覧二十六日報』、満洲関島しさなつた。 中等學校の轉入學者に氣 め

姓にも父

名、四三級十三名、校二年級十五名、

園兒

八爭奪に ーグ戦 恐ろ

三分一

はこの患者

名の希望者の中に

機の音を共に起き、大味

十三世間根氏の退位決り

選手權制確立さる

分の狂ひなく

從業員の苦心は想像以上

四行初發車試乘記

を表している。またく 海豚は出水で砂川下の底は至って平穏である を表から見る管状中の徐海県に新 ちしい機局がが 戦べり天春を迎っ ちしい機局がが 戦べり天春を迎っ

が敷かれたので案でも

勝れゝば、歌級系統





クレープンA

(黒猫タパコ)

英国高級タバコ



B

御進物用

折入各種

みや

ツふえた

種苗の御用

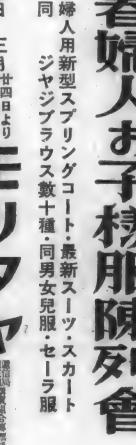
收接の鐵北 どおのび数

一ケ月を収穫した、管波して本郷の様子体

をどうぞ一度は…………をどうで一度は…………



期日 婦



三月世四日より

すべき補血榮養强壯潮である。 ボリタミンとそ先づ第一に應用 の分泌をたかめ、食慾を催進し、消まノ酸は胃腸細胞を賦活して、消 法は、消化蛋白アミノ酸ーポリタのは、体成分が必要以上に失はれのは、体成分が必要以上に失はれ て、休成分となるからで の應用である。何故なら本則はは、消化蛋白アミノ酸ーポリタ 榮誉作用が發揮される。 丈夫にするものである。 の應用は有要な食慾増進法であ と云つた病弱女性に對し、ポリ 要せず、そのま」ムグなく吸收 者は勿論、消化が惡く 0) 0 0 (根) 大五製薬株式會社 (機) 式田長兵衛商店 爲

バリータミン は他の栄養州さる 生理的作用な養揮も体質を強化する。故に 育題の方にも A がなく利用せられて衆養さ を主成分にするポリタミンがよい。 を進かはかるべきである。 それには「血液をはかるべきである。 それには「血液をはかるべきである。 それには「血液をはかるべきである。 白アミノ酸の標合剤である。従つて

造製 米日

トフアン)が多量に含まれてゐて優れポリタミンには造血アミノ酸(トリプの應用は専門醫の推奨する所である。 ン)が多量に含まれてゐて優れ 曾發養三

え性・

0

場合

蟲は學童の大敵のピマクニン (適應症) 急性。慢性淋病・膀胱炎・尿道炎・滑渇等するも胃腸障害又は腎臓刺戟を起さず淋菌を滅殺し尿を臍湿ならしむ。持機服用

病病 息 新治療剤 戸 京都帝国大き教授 声 博士 辻 寛治先生創製 河 河

河

腎臓病に王蜀黍毛 日本橋桑号

すぐ効くつでね 木死身だね 感じないの かたちが變 まだ

所究研學化醫獨日 館本

(36)

滿洲日報社廣告部 電話(二)三六九五番

御履物は

皆様の

朝鮮無知品

河

大川鎮南浦行(共同外六 大川鎮南浦行(共同外六 大川鎮南浦行(共同外六 大川鎮南浦行(共同外六 大川鎮南浦行(共同外六 大川城南浦行(共同外六 大川城南浦行(共同外六 大川城南浦行(共同) || 阿波共同汽船

加利丸(大連簽

青岛上海行(諸山丸 日清汽船献出帆

全種を地乗用乗店にあり

北鐵經營による

機構變革なり

八田滿鐵副總裁談

末の球様は迷症にさり頗る遊戯すべき懐勢さなり頭に何等かの異變を氣構へてある繁行である。斯して繁六十七通影響館の食む、大は武族院が米穀法案の衆議院修正を認め成立の豫定が急に形勢悪化し強底通過の見込みなく之に顕敬に、おは武族院が米穀法案の衆議院修正を認め成立の豫定が急に形勢悪化し強底通過の見込みなく之に顕敬に、おは武族院が米穀法案の衆議院修正を認め成立の豫定が急に形勢悪化し強底通過の見込みなく之に顕敬に東京特電二十五日致』餘縣延退問題に賜し琰府は二十五日の國時閣議で資業構院の懐黙につき閣職を揺寄り意見を交換した

政府部内に動搖の兆

農相の態度注目さる

大いで日程な追加と 一、昭和十年度一秒會計歳出の財 であるなる情報二次追加設 であるなる情報二次追加設

大演習

陸軍省公表

野田氏、政府を論難す

る旨を述べ時び日経一一、昭和十年度一次に関する法

日迄漢智實施、十一 戦御裁可わらせら

格闘弟右氏は二十五

羅總局次長)

田尻に直行月末まで

右氏は二十二

由は無いわけてあ 「願で電話をかけてゐるの。際に まつてゐてよ。ここまでいちつし



豫約申込み約六倍

国に楽観した、配して躯体観奏と

歌遊戦も事なく済んだ二十四日一に降り積むこさ及縁に及び回場の名が同にて廿五日和氣特派員餐」の級芬河には分類から春の影照り

ステルマツフ領事の挨拶

この調子で解決せん

常の南東山会覧に数する御り窓に 然有にて再び着京に数き淅州岡皇 の東山会覧に数する御り窓に 元年度最後の

追加豫算

総合語追加擎筆楽四項は二十五日度に於ける最後の追加豫範たる一度に於ける最後の追加豫範たる一 有内容は能入に於いて即物能制造加熱重要、動脈所に脈附され都以重要、動脈所に脈附され 國務院會議通過

「さう。あたしはコート

さして滑まなかったさ想つてあて と。 田日まで送って応き、またそと。 田日まで送って聴き、またそんなに深い御縦もないのに、管路 高野の二階にあがつて行つた。 人は人ごみなかきわけながら

日支提 台使・汪氏と會見

歌等について観響を ため陣棋する策定である 歌解リ酸化の概本業 に四月中旬出養脳田外様 應正純氏 (政) 赞 に含っては附帯

ふ貴族院で閉院式

見殺しの重要法案多數

歌か上げ決議を附 一、利拂期 四月二十五日 十月 込期間 四月八日より十日 北端織道の財産及收入変支捕場所の規定及収入

のでいる。 定なかるこさりな 込證據金 額面百圃に就き 取扱局增設

よ。すつかりおかたづきになった

うな顔をして毎日坐つてゐるの

「何か御用だつた?」

有する北郷の公表通信機解消し、

数國通】第六十七

第州國内に於ける公表通信事業經 でする北畿の公表通信事業經 に対ける公表通信事業經 警の一元化か略完成されたわけて満洲国内に於ける公衆通信事業経

もつて進まうつて、エ

最悪の場合も 收益五分は確實

た林機蔵は西脇秘書役を伴び二十北嶽接取に南銀を代表して列席し 北鐵經營で公債利子等の支辨 林滿鐵總裁歸連談 水害による堤防修理費

安東圖們橋梁架設置 東邊道々路改修費 八川00,000 1110,000 西三000

しわつてゐるのよし 「わたもあんたに行って達ふり。 つた師り、新浴で電話なかけてゐ

表さか管例さか云ふ名前なきく さ、明子はふつさ何か氣が暗くつ まる思ひがした。

んたもなるたけ元親でぬなくつち一年でも個んでゐるのよ、彩も、背 て、子能らもく語しなって行つたつて」 てれ。泣けてきていけないのし 概ふわ。でも父のここは識さない 宏つた風に明子によりそつて歩き あんた。また数のやうな無

愛戀十字街

現實と花(ご) 備本八百二繪

銀子の家は、自由なので、1

党話のなかの他子は、なかなか 分もかゝらないうちに、新裕県の 長い歩道を編奏さ銀子は歩いてき たさ云つてさびだしてきてしまつていたっただけれざ、急用が出来

六 (21)



日本観光のトップを切つて在ハルと映る一般深ついた二十五日観、

北鐵接收後の

訪日觀光團

無税港から裏街道へ とム密輸大連の現 引き残骸六、二七六度さ

送一一、てくりました。かくの如く綿布において奥地療養かくの如く綿布において奥地療養 名は二十八日午前八時劉州取て来・
瀬瀬兵中尉明川勝吉氏以下五十一
東京兵中尉明川勝吉氏以下五十一 昭和製鋼所の

入鐵管爆發

損害約二萬圓に達す

花の日本からこちらの花へ

、藝術使節

五月・嬉しい訪れ

日本

の手板をさることになべく清燥、淅州圏等に

の友邦暹羅

版が電話 関東江上流の共動師 | 民五十名
「東紅電話」 関東江上流の共動師 | 民五十名 村落を焼拂ふ 共產匪

がその損害二萬國さ

因藤選手の

語學校卒業式

て人事不省

鐵道

滿洲

羽左衞門

十八番物を揃へて大名題の初お目 見得

六月ごろ來連ば

門は四月十日歌舞伎座に出する 克も角野学技大幹部の湯洲園巡撃 交驩競技選手

けふ勇躍渡日

よりも阿片

愛想をつかした女か

グごうか別れるせて下さい/c大阿に関れる夫に愛想な事から

秋の男、市内鳴鶴畫十 行春江(二四)は足繁 松さして相當優れつ敍 秋さして相當優れつ敍

感よ實施を請願 職役員會で可決され そは

二十五日午後大連連動場に於て行はれた海郷演奏組合財南海電氣ラリ直に赤十字解院に擔害が出験選手に別し直に赤十字解院に擔害込まれ続い。 電子 一時間後急戦明歌さなつたが、電子 一時間後急戦明歌さなつたが、電子 一時間後急戦明歌さなつたが、電子 一時間後急戦明歌さなつたが、電子 一時間後急戦明歌さなつたが、電子

の共匪と

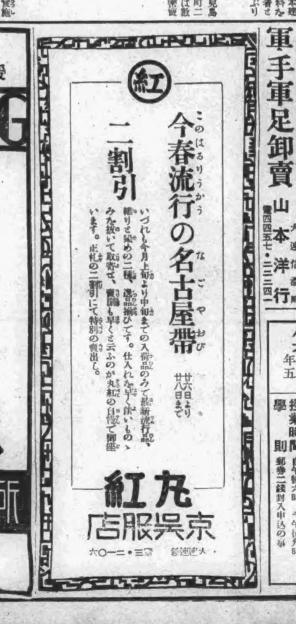
モビを被養 原特底見為 二八無機放岡高業 (三九) は数 二八無機放岡高業 (三九) は数 中か委見され目下取調(中

遭遇、大激 十倍に餘る敵を迎へて 滿洲國軍苦戰中

マンの多い満洲では一般に大阪四本受けるだちうが、満洲の持つ都を受けるだちうが、満洲の持つ都を受けるだちうが、満洲の持つ都をできばかが間壁、だが満種識りでも大るかが間壁、だが満種識りでも大 ◆こいづれにしてもこれが変地

模擬火災實驗 いっということと

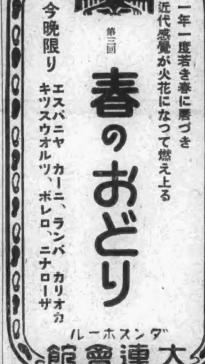






陸海軍 九州高等豫備校 一の記録

學立創在所 滿洲法政



白衣の凱旋

二十八日着連

て悪ひ鱠つて歌ひ出たものである。 「ない」とかけて後載を辿るの 「ない」といいで、「ない」といいである。 した男は

因發表さる

發火

地では二十五日全3 火薬 関に順じ湯洲開家

があったが、設備不 があったが、設備不 で、常日は日曜で で、常日は日曜で し入場者もなかった とのある が関いため各部 が関いため各部 が関いため各部

使山田田賀藤城木林井田中井上東 佐小蘭春百近結鈴小澄岩山西村今 (清 寶)

朝鮮居留民會 顧問射殺さる

毎日のお食膳に

不意の御來客に

阿部、港子の四署最は二十者長招待宴、久下溜、

 $23\left\{ \begin{array}{cc} 1 & 0 - 5 \\ 1 & 3 - 0 \end{array} \right\} 5$

0 0

キュービー マヨネーズ

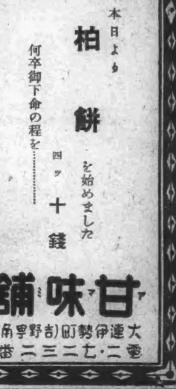
-0

2











・世齢の表からその粋を失つてまに継承の人々さ共に訓練され

日

神機能の飲べたる体

した平案の一族

能でいたった。

(163)

花治

音樂(糸)

歌師、影響の歌奏を動い

が使さなり、性軽切に動し 俗のすがたなって、、 寒生

廿五日大劇開演

(奥)的さび(糸)旭勝

「桐一葉」放発が「桐一葉」放発

ピクターでは窓にコルトーペムかに嫌るショバンを戦の意味を置いて、大性四月の 世無難しさ「無苦戦」で「大性四月の 世無難しさ「無苦戦」で「大性四月の ピクター洋盤



奉天白虹童謠會

來る三十日來連

協和會館に於て晝夜二回

本格的兒童舞踊公演

獨特の大 この料金 見よ…此の映畵

こ愛の萬廿員業從道鐵 作名く描を活生の牲犧

於今春三月十六日關東州清酒品評會

連續榮譽

九四七八

賞

金牌受領



キカミハ節用に 此の白 所需書博下級・館本芸仁的小の参

= 廿六日 (二) 日間) 現代事 醫帝國館

面壁九年 1

-120

のんでりゃ苦念なし

●テイコクカン●

連大 廿日公開・毎日晝夜連獲入れかえなじ - 11,47 8,08 6,53 - 0,02 3,25 6,54 10,00 1,21 4,44 8,13 > 10,17 1,38 5,00 8,80 十一時迄入場の方世銭引



石浦大大大東星 ケ

て左配の如く値段改定仕り候 何卒御鯨承倍舊の御引立の程順上度此段 諸物價の高騰に依り其の筋の御認可を得 牛乳値段改定能謹告 全乳 1合品村 大連牛 金八 乳營業組

毛糸·服地·婦人服 大安賽提供品 九三五年春の流行品ばかりです 花の春の御装砂の御難懈は是非只今日

行流9

運動 見ば 力魅。春

毎日十一時開演三回與行
ニニース 1.40 6.05 料中
-本刀土徳入 1.60 6.15 金 央
※近の箱線 11.00 3.25 7.60 円央
※近の箱線 11.00 3.25 7.60 十館

管頭界の最高峰が映跡大郎三島一撃一会心の吹込

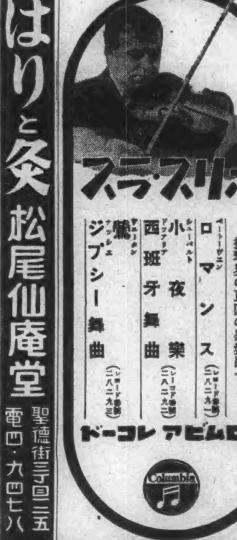
アリラン夜曲 春姿すみれ娘 福的な調べの中に~長間な無 をいる例なりズム 題り 五三三十三 四 個段の廉いのさ 三五九七九番之動具店 邊 家 は 文 女

春の 東京港ま F V - OTOR FV

り(簡単な手のうちにお祭の期かな報分を輸込んだ面白い)

醸造元 原 田 商

會



A KHR 提挙界の巨匠の黒盤出づ!



.



. . . .

び及店藥名有地谷 す賣販にトーバデ